

## 臨床研究内容 ホームページ公開用

## 1. 研究課題名称

閉塞性動脈硬化症患者における術前栄養指標と長期予後に関する後方視的研究

## 2. 研究の背景・目的

閉塞性動脈硬化症（以下、PAD）の予後規定因子に関する報告は多く、術前栄養状態（血清アルブミン値、Body mass index [BMI]）もその候補の一つです。GNRI は血清アルブミン値と実測 BMI、理想 BMI により計算される栄養指標であり、心血管系疾患の生命予後因子として注目されるようになり、ついには CLI（血管内治療[EVT]患者を対象）の独立予後因子としての重要性を指摘する論文も報告されました。今回の研究は Geriatric nutritional risk index（以下 GNRI）が、PAD による虚血症状に対しバイパス手術を受けた患者の長期予後を規定する独立因子であるかどうかを明らかにし、PAD 診療に役立てることを目的とします。

## 3. 対象者および対象期間

1991年1月～2017年12月までの27年間に、ソケイ靭帯以下の動脈病変に対する初回の待機的血行再建術（外科的バイパス術）が施行された患者様が対象です。

2018年以降も対象症例を追加登録します。

## 4. 研究内容

対象症例の患者背景・一般身体所見、合併症・既往症、各種検査データ、術後経過などを登録し、後ろ向きに解析します。

## 5. 個人情報の管理について

データの集計の際は患者名を匿名化し、個人を特定できないように配慮します。

## 6. 研究期間

許可日より開始します。終了時期は5年間です。

## 7. 医学上の貢献

ソケイ鼠径靭帯以下動脈領域における外科的バイパス術を受けた PAD 患者様のアウトカムと術前栄養状態の関係を明らかにすることは、外科的バイパスの適応を決定するにあたり、非常に意義深く価値あることと考えられます。

## 8. 研究機関

済生会八幡総合病院血管外科・リハビリテーション科

製鉄記念八幡病院血管外科・リハビリテーション部

## 9. 連絡先

上記研究対象期間において該当になる方で研究に対して不都合がある場合や研究に対してご不明な点がございましたら下記の連絡先まで連絡をください。

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部 島添裕史

805-8508 北九州市八幡東区春の町 1-1-1 TEL:093-671-9318